

### T-13 燃料灰腐食

燃料灰腐食は、化石燃料、バイオマス、廃棄物などの燃焼環境においては、燃焼灰が金属に付着し、付着灰中に含まれる塩の溶融によって起こる溶融塩腐食である。

T-07 溶融塩および T-55 の石炭灰腐食を参照されたい。

溶融塩腐食は、300 °Cを超えた温度域から徐々に腐食が激しくなり、500～700 °C程度の温度域に特に激しい腐食領域が存在する。一方 700 °C以上の高温域ではガス相による腐食と同程度になり腐食はむしろ軽減される。